

## ○3節-2 ノリ養殖業・貝類漁業対策

### 2-(2) アサリの冬季減耗対策

#### ・網袋を利用したアサリ生産技術開発の内容及び経過報告

##### (1) 目的

三番瀬ではアサリの冬季減耗により生産量が減少する。網袋により冬春季のアサリの保護育成効果などを評価することで、冬季減耗が軽減され生産現場での応用の可否を検討する。

##### (2) 全体計画 (H26~28年度)

育成技術の検討 (H26~28年度の2期)  
 育成適地の検討 (H27~28年度の1期)  
 最適な育成技術の評価 (H28年度の1期)  
 ※漁業者との共同調査

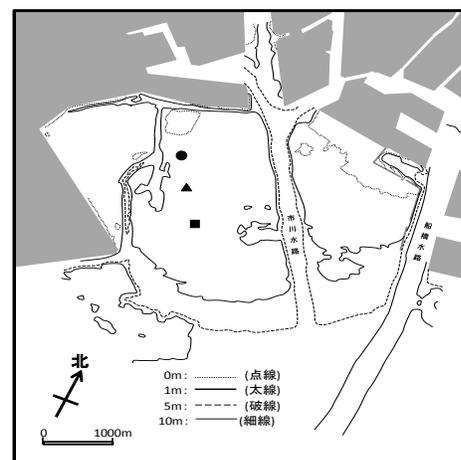


図1 網袋の設置場所  
 (●:岸側, ▲:中間, ■:沖側)

##### (3) 前年度の結果概要(期間:H26年12月~H27年5月)

網袋の構成選定に係る比較試験

網の材質: ポリエチレン > ナイロン

目合い: 4mm角 = 6mm角

基質: 砂利+軽石 = 砂利 > 軽石

- ・生残率は4月まで90%以上、肥満度が2~4月に23~25台と身入りの良さを売りにする養殖技術になる可能性がある。

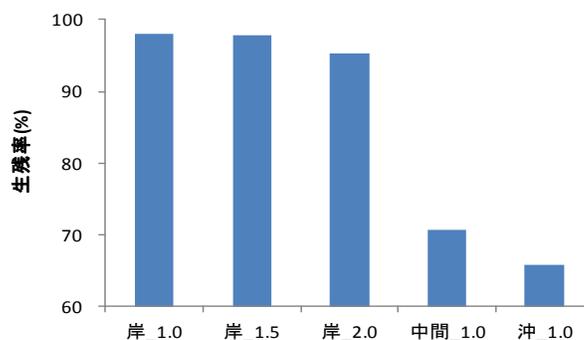


図2 生残率(横軸ラベルは「場所\_種苗重量」を示す。2月27日の結果)

##### (4) 本年度試験の内容

調査期間:平成27年11月~平成28年5月

設置場所:岸側, 中間, 沖側の3か所(図1)

網袋構成:大きさ(40×60cm)以外は(3)アサリ種苗:1.0, 1.5, 2.0kg/袋

(平均殻長27mm)

設置方法:コンポーズパイプでロープを海底に固定し、固定されたロープへ万国旗状に網袋を設置。

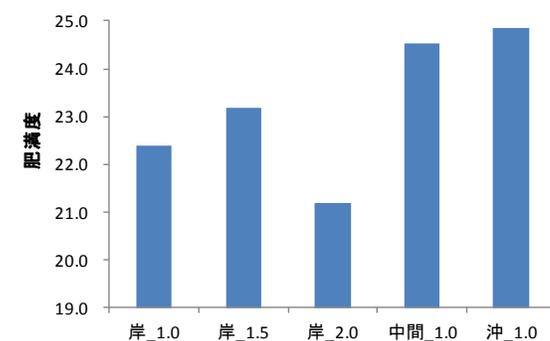


図3 肥満度(2月27日)

※肥満度=軟体部湿重量g/殻長×殻幅×殻高cm

##### (5) 結果(2月27日までの経過, 図2-3)

- ・設置場所の比較において、生残率は66~98%で岸側>中間>沖側であり、肥満度は22.4~24.8 沖側>中間>岸側であるがどの場所も良好であった。
- ・種苗の収容密度の比較において、生残率は95~98%、肥満度は21.4~23.2で各試験区間に大きな差は見られなかった。